



望°

～ぼう～

2018年10月発行

20号

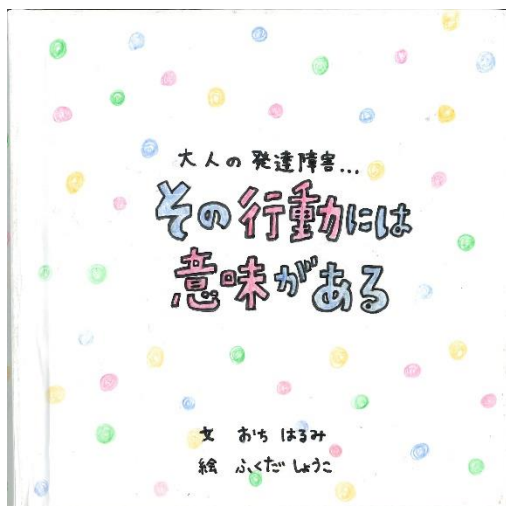


発達障がい支援フォーラムの報告

「“その人らしさ”ってなんだろう？」～ここを受けとめるために～

松江で初めて「発達障がい支援フォーラム」を開催させていただきました。10月7日（日）に決定してから10カ月あまり準備を進めていく中で、予期もしなかった台風25号の上陸、開催が危ぶまれる中、何度も气象台に電話を入れ（人生でこんなに气象台に電話を入れたことがなかった私です。）確認し続け、最終的に決断したのは、金曜日（5日）の昼前でした。心配して沢山の方から電話やメールを頂きました。ありがとうございました。また、出店等で参加していただきました事業所の皆様にもヒヤヒヤさせたことと思います。当日はすっかり晴れ上がり、「開催してよかったぁー」と胸をなで下ろすほどで、330名にも上る皆さまに参加していただけたことに感謝申し上げます。そして、遠く北海道からお越しいただいた田中康雄先生には、休む暇もなく登壇していただき、納得のいくお話、当事者とのシンポジウムと皆さんの感動を誘ったということは間違いないということアンケート結果を見ながら確信いたしました。先生からは「ひとえに5人組のおかげとっております。」という言葉まで頂きました。また、当事者として参加して下さった5名の皆さんに対して「感動して涙が流れた」「すごい！」「期待したい」等々多くの声を頂きました。彼らの今度の活躍に期待したいと思います。

このフォーラムを通して多くの皆様が、少しでも発達障がいについて理解を深めていただき支援をしていただければ幸いです。



シンポジウムの中でお話しに挙がった本を紹介します。

「その行動には意味がある」

この本は、シンポジウムに参加いただいた当事者の方が書かれた本です。田中康雄先生にも「これはすごくいい本ですね」というお言葉もいただきました。

センター長 石橋美恵子

親の会の活動

10月	11月	12月
4日(木) 自閉症協会出雲支部 場所：療育センター燦々 時間：10：00～12：00 17日(水) 自閉症協会松江支部 場所：総合福祉センター 時間：10：00～12：00 26日(金) ひだまりの会 場所：いきいきプラザ 時間：14：00～16：00	7日(水) 手をつなぐ育成会 いいともおやとも子育て講座 場所：川津公民館 時間：10：00～12：00 8日(木) 自閉症協会雲南支部 場所：つつじホール 時間：10：30～12：30 21日(水) 自閉症協会松江支部 場所：総合福祉センター 時間：10：00～12：00	6日(木) 自閉症協会出雲支部 場所：療育センター燦々 時間：10：00～12：00 19日(水) 自閉症協会松江支部 場所：総合福祉センター 時間：10：00～12：00 26日(金) ひだまりの会 場所：いきいきプラザ 時間：14：00～16：00

※ウィッシュのスタッフも参加させていただいています。

❖ ウィッシュ医療相談 ❖

診断・投薬はできませんが、医療に関わる心配ごとを相談できます。

月	日	担当医師	場所	時間
10月	12日 (金)	鳥取大学医学部 兼子幸一先生(精神科)	《安来会場》 安来中央交流センター	① 14:00～15:00 ② 15:30～16:30
	15日 (月)	いしいクリニック 石井尚吾先生(小児科)	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
11月	2日 (金)	島根大学医学部 長谷川有紀先生(小児科)	《雲南会場》 雲南市役所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	7日 (水)	島根大学付属病院 松田泰行先生(精神科)	《雲南会場》 雲南市役所	① 14:00～15:00 ② 15:30～16:30
	20日 (火)	青葉病院 藤本昌彦先生(精神科)	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	22日 (木)	いしいクリニック 石井尚吾先生(小児科)	《雲南会場》 雲南市役所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
12月	12日 (水)	きむらこどもファミリークリニック 木村正彦先生(小児科)	《出雲会場》 出雲保健所	① 15:30～16:30 ② 16:30～17:30
	14日 (金)	島根大学医学部 長谷川有紀先生	《出雲会場》 出雲保健所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00

*予約制です(お一人1時間弱)。医師定期相談は医療にかかっていない方を優先させていただきます。医療相談をご希望の場合でも、原則、事前にスタッフとの面談が必要となります。

*医師が必要と判断した時は発達障がいの専門的な検査を行うこと可能です。そのため、相談には臨床心理士が同席させていただきます(詳細はお問い合わせください)

*医師との相談後、発達障がいに関する支援が必要であれば引き続きセンターでご相談もできます。

私の物語 ～高校生編～

高校時代は松江緑が丘養護学校高等部に通いました。身体に難病を抱えてる等、私とは全く違う境遇を持つ生徒と一緒に、戸惑いを感じることもありましたが、クラスはわずか6人で先生と生徒の距離が近く、一人ひとりにかかわる時間も長く、対等な関係で話が出来たことに少し衝撃を受けました。

先生方とはとても話やすく、困ったことがあれば授業後、また会議等あれば時間調整をしてもらいよく相談していました。このような良い環境に恵まれたことが、自分の質を高め、自信に繋がったと思います。

1年時の文化祭で舞台に出演するよう先生から要請がありました、沢山のお客さんの前に立つことは大変苦手な自分でしたが結果は見事なまでに「大根の演技」でした。しかし、このことがきっかけで目立つことが「楽しい」と思えるようになり、卒業までにサザエさんやマリオ等、様々な仮装や司会をさせて頂き、先生には私が持ってなかった「発信力」を育てて頂いたことに感謝しています。

しかし、順風満帆だったかと言えばそうではありませんでした。私の中には、人の目付きや言動をネガティブ（自分に対して憎しみ、嫉みを持つ）に考える事が良くあり、2年生になると、この誤解しやすい性格が災いし、特に後輩に対する強い苦手意識を持ち始め、自分から人を避けるようになってしまい、その結果、わだかまりを生むことがありました。自分の「後ろ向きの性格」には卒業するまで度々悩み、授業が終わってから先生に相談することがありました。

3年生になると、一般就労に向けて現場実習を繰り返し行いました。紙ファイル製造の補助や介護実習、清掃業等の実習をしました。現在、働いてる日立金属安来製作所の施設管理グループには11月と2月の実習が評価され就職が決定しました。

私が障害者手帳を取得したのは高校3年生の時でした、それまでは診断のみで中学・高校に通っていましたが、障害者枠で就労するために手帳の取得が必要となり、広汎性発達障害の診断を受け、精神保健福祉手帳の交付を受けました。

今回は石倉さんの就労について紹介します。

石倉さんは日立金属安来製作所に勤務し4年目を迎えています。大変なこともありますが、職場の理解、そして周りの人に支えられ今日を迎えています（川上）

発行元*

「島根県東部発達障害者支援センターウィッシュ」

〒699-0822 出雲市神西沖町 2534-2 (さざなみ学園内)

TEL 050-3387-8699/FAX 050-3730-9745

E-mail:wish@sazanami-g.jp

担当:高田 編集長:川上